

教育プログラム・コースの概要

大学名等	神戸大学大学院保健学研究科						
教育プログラム・コース名	がんプロフェッショナル養成プログラム(がん看護学)						
対象職種・分野	保健学研究科博士前期課程・博士後期課程に在籍し、看護師免許を有する大学院生						
修業年限(期間)	2年(博士前期課程大学院生)または3年(博士後期課程大学院生)						
養成すべき人材像	がん看護に携わる看護師として、小児期、AYA期、壮年期、老年期などのライフステージに応じて、医療機関・地域などのあらゆる場をシームレスに捉え、治療中から治療後のフォローアップにわたる、がん患者・がんサバイバーへの高度看護支援やその看護を開発する研究手法を学び、がん患者とその家族のウェルビーイングやQOLの向上に貢献できる人材を養成する。						
修了要件・履修方法	必要な単位を履修し、修士論文または博士論文を提出し、学位審査に合格すること。						
履修科目等	<p>【博士前期課程】専門科目 22単位以上(指定される専門科目 14単位以上(特講又はCNS専門科目から2単位以上、演習2単位以上、特別研究10単位)、生活習慣病・予防治療学特講 2単位、地域保健実践学特講 2単位、その他保健学研究科・医学研究科で開講される科目 4単位以上)、共通科目 8単位以上(メディカルデータサイエンス特講を含む保健学研究科博士前期課程共通科目 4単位以上、腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発) 4単位)</p> <p>【博士後期課程】専門科目 10単位以上(指定される専門科目 8単位以上(特講2単位以上、演習2単位以上、特別研究4単位)、その他、保健学研究科・医学研究科で開講される科目 2単位以上)、共通科目 6単位以上(メディカルデータサイエンス特講を含む保健学研究科博士後期課程共通科目 2単位以上、腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(各2単位)</p>						
がんに関する専門資格との連携	がん看護専門看護師(日本看護系大学協議会)の教育施設として認定						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	ライフステージに応じたがん看護、医療機関から地域へのトランジションを踏まえたがん看護を提供できることを目指し、また看護学・保健学における多様な研究手法を学ぶことができる内容である。保健学研究科の特色を活かし、がん医療における看護学領域、病態解析学領域、リハビリテーション科学領域、パブリックヘルス領域、さらに神戸大学医学部附属病院との連携を通じて、チーム医療を学修できるよう工夫している。						
指導体制	小児がん看護や成人がん看護を専門とする教員を中心に、看護学領域、病態解析学領域、リハビリテーション科学領域、パブリックヘルス領域の教員が連携し、多職種連携・チーム医療を踏まえた指導を行う。またプログラムの内容を効果的に学修できるように個別指導も組み込み実施する。神戸大学医学部附属病院のがん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師などから、具体的な事例を交えるなど実務上の視点を取り入れた指導を実施する。						
修了者の進路キャリアパス	本プログラムの修了後、がん看護の専門性を有した看護師として、医療機関や訪問看護ステーションなどで、ライフステージや看護実践を行う場に関わらず、がん患者・がんサバイバーやその家族に対する看護を提供し、またチームとしての看護実践を向上するリーダーとして活躍することが期待される。さらに、研究者としてがん看護に関する研究を推進し、がん看護の質を改善すること、また大学教員としてがん看護に携わる人材育成を担うことも期待される。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7 年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	過去の神戸大学大学院保健学研究科博士前期課程・博士後期課程の志願者数のうちがん看護学を専攻する学生数およびニーズ調査から毎年度1人程度の志願者が見込まれるため、博士前期課程・博士後期課程での受け入れ目標人数を計5人と設定。						